



〈執筆者〉

西消防団 岩岡支団

安福 元章

私は、平成19年度から西消防団岩岡支団本部の活動の一端を担っています。支団本部での活動は、今までの班の活動とは異なり、勉強しなければならぬことが多いだけでなく、8分団14班を取りまわすため、責任が重大です。しかしその一方で、わが町・岩岡町と向き合う機会が与えられたことに感謝しています。

また現在、神戸市消防協会の広報担当として協会のホームページに支団の活動報告などを掲載しており、団員が地域貢献を行っている勇

姿を皆さんに知ってもらえるよう、機会があればカメラを片手に撮影に励んでいます。これは大変ありがたい職務であり、さまざまな消防団活動に通じるきっかけとなりました。皆さんもぜひ、神戸市消防協会のホームページで、わが支団の活動内容をご覧いただければと思います。

ところで、私の職業は農業ですが、農業は地域の協力が重要であり、個人の力だけで簡単にできるものではありません。だからこそ、地域とのきずなの重要性を、常に強く感じています。

一方、消防団活動も全く同様で、地域と深く密着していることに気付かされるのが度々あります。なぜなら、自分の仕事をしながら消防団活動に参加することは、決して楽ではないからです。

個人としても、組織の一員としてもしっかりとしなければならぬのはもちろんですが、これらの活動を両立させるためには、家族や地域の方々のバックアップがなければ成り立たないと、痛感させられます。先日、「雪」の特集記事「平尾誠二氏と新春に語る」を読ませていただき、その内容が消防団にも通ずるところがあると感じました。

消防団もチームであり、地域というチームの中の一メンバーでもあります。この組織を構成していくことは困難ですが、とても大切なことであり、まさに「One for all, All for one」の精神で取り組んでいかなければならないと確信しました。

私は新人で、迷惑を掛けることも多いと思いますが、早くチームの一員として役に立てるように努めていきたいと思っていますので、今後ともご指導と応援のほど、よろしくお願い致します。